



酒田市合併10周年

10年前の平成17年11月1日、酒田・八幡・松山・平田の一市三町が合併し、新酒田市が誕生しました。長いようで短い10年、それぞれの地域が持つ力を集め、魅力的な地域づくりを目指した取り組みが行われてきました。

これまでを振り返り、これからを見つめて。酒田市は、市民の皆さんとともに、一步一步着実に歩んでいきます。

●お問い合わせ／市政推進課政策推進係 ☎26-5704



平成17年11月1日、酒田市、八幡町、松山町、平田町は、それぞれの資源と魅力を融合し、新たな船出をしました。

合併当初は、各総合支所の目を定めるなどさまざまな交流事業を推進し、着実に一体化を進めてきました。その後、旧町の行政機能、経済機能の中心となっていた旧町役場は、タウンセンター構想のもと地域の拠点としての整備を進めました。八幡地域はさまざまな機能が一体となった新たな拠点を整備、松山地域は農村環境改善センターの隣に総合支所を整備、平田地域は総合支所庁舎に消防機能を整備することで、地域のにぎわいの創出に努めてきたところです。

そして新市は一体化から発展へと、次のステージに進みました。義務教育施設の施設整備と学校の統廃合は、旧市町の枠を超えた統合へと広がりました。高等学校は、東北最大規模の県立酒田光陵高等学校が誕生しました。また県立日本海総合病院と市立酒田病院が全国で初めて独立行政法人として再編統合し、全国に誇れる地域医療体制が整いました。

合併により都市基盤が強化されたことは、さまざまな面で波及効果を生んでいます。

酒田港は、重点港湾と日本海拠点港に選定され、2基目のコンテナクレーンも整備されました。国際コンテナ取扱数が過去最高を記

録するとともに、定期コンテナ航路は週6便へと拡大され、今後、さらなる飛躍が期待されています。

さらに地域企業による大型設備投資が行われるとともに、企業誘致に成功し、新たに500人規模の雇用を創出しました。長い間低迷を続けてきた本市の有効求人倍率は、山形県全体を牽引するまでに改善したところです。

今後さらなる発展につなげるためには、交通ネットワーク整備が重要です。山形新幹線庄内延伸、日本海沿岸東北自動車道、新庄酒田地域高規格道路、酒田港の整備促進を積極的に進めていきます。

本市は、新たな10年、そして100年へ、人財と風土が支える産



酒田市長 丸山 至

業・交流都市としての大きな飛躍に向けて力強く歩み出します。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



特集



酒田市の10年を振り返る



平成17年

- 2月19日 八幡町・松山町・平田町・酒田市で合併協定締結…①
- 11月1日 新酒田市誕生…②
- 11月13日 新酒田市初代市長に阿部寿一氏が就任

平成18年

- 1月8日 合併後初の成人式…③
- 1月17日 合併記念式典
- 3月11日 公益研修センター完成
- 4月 新南平田小学校開校(東陽小学校、南平田小学校が統合)…④
- 5月20日 市民憲章、市の木・市の花・市の鳥を告示・制定…⑤

平成19年

- 1月29日 井村(旧姓池田)久美子さんに市民栄誉賞贈呈…⑥
- 3月31日 市道上安町富士見町線開通式
- 9月18日 酒田市総合計画(平成20年～平成29年の10年間)が議決



酒田市市民憲章

わたくしたちは 鳥海山に見守られ
豊かな恵みをもたらす最上川と日本海
そして庄内平野に生まれた酒田の市民です

わたくしたちは 大きな夢と希望を抱きつつ

- 1 自然と歴史 文化を尊び 美しいまちをつくります
- 1 心と体をきたえ 元気なまちをつくります
- 1 ふれあいと思いやりを大切に し ぬくもりのあるまちをつくります
- 1 学ぶこと 働くことをよろこびとし 豊かなまちをつくります
- 1 平和と交流の輪を広げ 世界に開かれたまちをつくります

⑪



▶明治30年頃の立て山鉾

⑨



⑦



⑩



⑧



平成20年

- 3月25日 平和都市宣言・交通安全都市宣言・暴力追放都市宣言制定
- 4月1日 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構発足：⑦
- 4月1日 酒田ふれあい商工会開所：⑧
- 4月20日 山王くらぶオープン：⑨
- 5月18日 出羽大橋新橋開通：⑩
- 5月19日 立て山鉾106年ぶり復活：⑪
- 6月1日 公益活動支援センター開設
- 8月19日 井村(旧姓池田)久美子さん北京オリンピック出場
- 12月22日 新松山総合支所開所：⑫

平成21年

- 2月23日 映画「おくりびと」がアカデミー賞受賞
- 4月1日 公民館活動がコミュニティ振興会へ一元化
- 4月 新八幡小学校開校(八幡小学校、大沢小学校、日向小学校が統合)：⑬
- 4月 飛鳥小学校が9年ぶり再開：⑭
- 4月9日 消防本部機能が平田総合支所内に移転、開所式
- 5月19日 立て山鉾107年ぶりに巡行
- 5月20日 酒田まつり(山王祭)創始400年：⑮
- 11月8日 酒田市長に阿部寿一氏再選

⑮



⑬



⑭



⑫





平成22年

1月4日 八幡タウンセンターオープン…¹⁶

1月23日 みなと市場オープン…¹⁷

3月5日 本市の石寺健一氏が第33回日本アカデミー賞最優秀録音賞を受賞(映画「剣岳 点の記」)

4月 鳥海八幡中学校開校(鳥海中学校、八幡中学校が統合)…¹⁸

4月 酒田市立酒田看護専門学校開校…¹⁹

4月 6日 松山保育園開所…²⁰

4月 12日 八幡地域にヨーグルト工場竣工

7月 10日 ニューとびしまさよならクルーズ…²¹

7月 17日 定期船「とびしま」就航

8月 3日 酒田港が重点港湾に選定…²²

10月 11日 飛鳥地区女性消防団発足100周年記念式典

平成23年

3月 11日 東日本大震災

3月 26日 主要地方道酒田松山線飛鳥バイパス開通

4月 東北公益文科大学創立10周年…²³

4月 1日 日本海総合病院に救命救急センター開設、増築棟オープン

4月 新第一中学校開校(第一中学校、第五中学校が統合)…²⁴

4月 飛鳥中学校が8年ぶりに再開

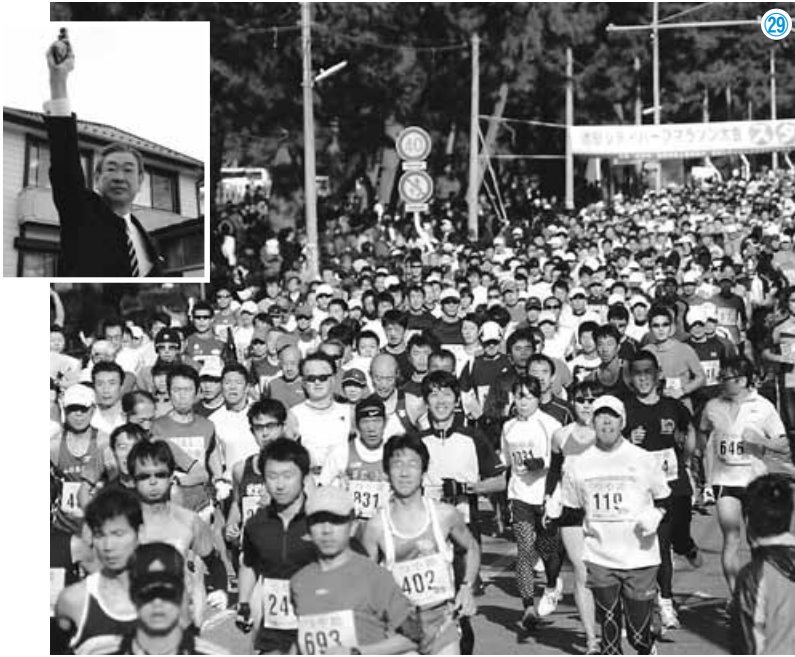
4月 酒田特別支援学校開校

8月 5日 各地域協議会が地域ビジョンを市長に提出…²⁵

10月 7日 第35回山形県高等学校総合文化祭開催

11月 11日 酒田港が日本海側拠点港に選定(リサイクル貨物部門)…²⁶





平成24年

- 4月 県立酒田光陵高等学校開校(市立酒田中央高等学校ほか3校が統合)
- 4月 新第二中学校開校(第二中学校、平田中学校が統合)：27
- 4月11日 酒田市地域おこし協力隊第1号・松本さんへ委嘱状交付
- 4月12日 宮城県石巻市・大崎市、新庄市と災害援助協定締結
- 4月14日 光ヶ丘陸上競技場リニューアルオープン：28
- 7月1日 酒田市空き家等の適正管理に関する条例施行
- 10月29日 酒田市長に本間正巳氏が就任
- 11月4日 第1回酒田シティハーフマラソン大会開催：29

平成25年

- 出羽国建国1300年記念年
- 2月15日 酒田市雇用創造協議会設立
- 3月22日 消防署八幡分署・松山分署竣工
- 4月 平田小学校開校(東平田小学校、中平田小学校、北平田小学校が統合)：30
- 5月1日 酒田医療センターが新たにオープン
- 5月4日 庄内空港搭乗者が800万人に(平成19年600万人、平成22年700万人)：31
- 5月15日 日本海沿岸東北自動車道の両県境部分が事業化決定
- 5月20日 酒田まつりにミッキーマウス登場
- 6月13日 宮城県多賀城市と災害協定締結
- 7月20日 松山人工スキー場リニューアルオープン：32
- 10月1日 土門拳記念館開館30周年
- 10月14日 日本海沿岸東北自動車道(酒田みなと遊佐)起工式：33
- 11月26日 誘致企業(株)プレスステージ・インターナショナル「山形BPOガーデン」竣工
- 11月28日 市庁舎改築工事安全祈願祭、改築工事業開始：34
- 11月28日 酒田港国際ターミナル第2号コンテナクレーン竣工式



平成26年

3月28日 新内橋新橋供用開始

4月 亀ヶ崎小学校開校(亀城小学校、港南小学校が統合)：(35)

4月 東部中学校開校(松山中学校、飛鳥中学校が統合)：(36)

4月2日 花王(株)酒田工場紙おむつ新工場竣工式

6月14日 山形DCスタート(陸羽西線100年)：(37)

7月3日 希望ホール開館10周年

9月1日 創業支援センター設立

9月9日 酒田夢の倶楽入館700万人突破：(38)

9月13日 陸羽西線100年記念式典

9月19日 元酒田市長・故相馬大作氏が特別名誉市民に(平成26年8月21日永眠)

9月26日 さかた婚活情報局リング開設

12月26日 本市・三川町・庄内町・遊佐町が庄内北部定住自立圏形成協定を締結：(39)

3月24日 鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会設立

4月18日 光ヶ丘陸上競技場に屋内走路オープン：(42)

5月19日 秋田市と交流提携書締結：(43)

6月20日 国際定期コンテナ航路週6便に(平成26年3便、平成27年2月4便、同5月5便)

7月8日 酒田市美術館入館者100万人達成：(44)

7月20日 本間正巳市長が永眠

8月17日 八幡地域日向地区に地域おこし協力隊として佐藤さんが着任

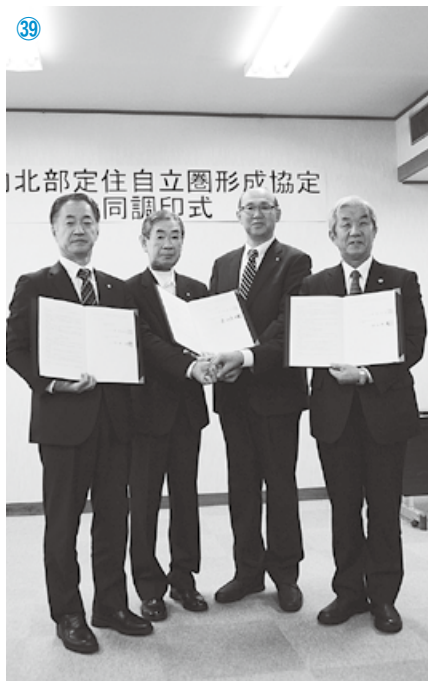
8月24日 酒田港国際定期コンテナ航路開設20周年記念式典

9月7日 酒田市長に丸山至氏が就任：(45)

9月8日 コワーキングスペース「UNDERBAR」グランドオープン

10月6日 平成27年酒田港国際定期コンテナ航路貨物量(9月末時点)が過去最高を更新

10月31日、全国ねぎサミット開催





これまでの10年、地域を照らし続けた子どもたちの笑顔。
未来を担う子どもたちは、地域の宝…そして酒田市のかけがえのない財産です。

平成27年11月、酒田市はこれからの10年に向けて出航します。
その航路が、子どもたちの明るい笑顔で照らされますように。

